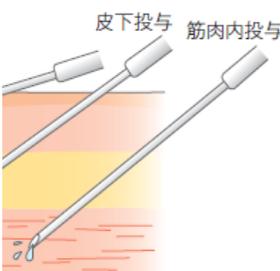
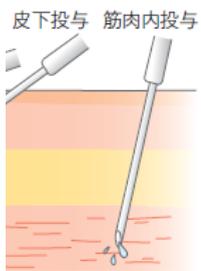


『愛玩動物看護師の教科書 第3巻』(1刷) 訂正とお詫び

ISBN978-4-89531-770-2

下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

訂正箇所	誤	正
p.3 20 行目	第 5 章 (1~6)	第 5 章 (1~ <u>7</u>)
p.3 24 行目	第 5 章 (7)	第 5 章 (<u>8</u>)
p.62 表 3 脂肪変性 発生機序	要因として脂肪の加給, アポ蛋白 や	要因として脂肪の <u>過</u> 給, アポ蛋白 や
p.73 右段 (1)血栓の分類 5 行目	白色血栓: 血小板, フィブリン, 白血球を主成分とし, 動脈 (血流 の速い部分) に形成される。	白色血栓: 主成分は血小板, フィ ブリンであり, これに白血球が混 在する。動脈 (血流の速い部分) に 形成される。
p.93 表 1 経口投与 運ばれる経路	消化管粘膜→門脈→肝臓→心臓	消化管粘膜→門脈→肝臓→ <u>静脈</u> →心臓
p.93 表 1 皮下投与 運ばれる経路	真皮→毛細血管→静脈→心臓	<u>皮下組織</u> →毛細血管→静脈→心臓
p.93 表 1 経皮投与 運ばれる経路	皮膚→皮下→真皮→毛細血管 →静脈→心臓	皮膚→ <u>真皮/皮下組織</u> →毛細血管 →静脈→心臓
p.108 図 4 筋肉内投与		 <p>・筋肉内投与の刺入角度を変更</p>

訂正箇所	誤	正								
p.123 図 1 左上, p.124 表 1 効果器 眼 2 行目	瞳孔輪状筋	瞳孔括約筋								
p.139 図 1 左の吹き出し	酸素濃度低下を感知する	二酸化炭素濃度上昇、水素イオン濃度上昇を感知する								
p.179 左段 1. ポリエ…2 行目	真菌の細胞壁の成分である	真菌の細胞膜の成分である								
p.212 左段 ■ 形態 6 行目	65～80×65～75mm	65～80×65～75 μ m								
p.228 図 34 右上	スポロラスト	スポロシスト								
p.322 表 15 1 行目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>疾患名</th> <th>病原体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリプトスポリジウム症</td> <td>真菌</td> </tr> </tbody> </table>	疾患名	病原体	クリプトスポリジウム症	真菌	<table border="1"> <thead> <tr> <th>疾患名</th> <th>病原体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリプトスポリジウム症</td> <td>原虫</td> </tr> </tbody> </table> ・真菌を原虫に変更	疾患名	病原体	クリプトスポリジウム症	原虫
疾患名	病原体									
クリプトスポリジウム症	真菌									
疾患名	病原体									
クリプトスポリジウム症	原虫									
p.326 表 1 地球温暖化 国際的な…	気候変動枠組条約、京都議定書	気候変動枠組条約、京都議定書、 <u>パリ協定</u>								
p.355 表 4 感染型食中毒 3 行目	エンテロトキシンが腸上皮細胞を刺激する（生体内毒素型）。	エンテロトキシンが腸上皮細胞を刺激する（生体内毒素型*）。 <u>注釈として以下の一文を追加</u> * 生体内毒素型を毒素型に分類する方法もある。								
p.355 表 4 毒素型食中毒 2 行目	腸管に到達して腸上皮細胞を刺激する。	腸管に到達して腸上皮細胞を刺激する（ <u>食物内毒素型とよばれることもある</u> ）。								

(3.5)